



平成29年度第1回「学ぶ土台づくり」研修会を開催しました！

平成27年度から開催している「学ぶ土台づくり」研修会ですが、今年度は年2回に開催回数を増やし実施します。また、内容としては次年度から本格実施となる「幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領」に関するものとなっています。

去る8月26日（土）には今年度第1回目の研修会を開催し、幼稚園教諭や保育士、小学校教員など101名が参加しました。

＜参加者の感想より＞

・ 幼児期の終わりまでに育ててほしい姿が示されたが、到達すべき目標や取り出されて指導するものではないことを幼児教育施設の職員だけでなく小学校教諭も理解した上で、幼保小連携に取り組めるとよいと感じた。



第1回研修会の様子

・ 幼保小の歩み寄りが、子供の育ちや教育の質の向上にとっても重要だということ学べた。

11月7日（火）には、第2回目として、昨年度好評だったワークショップ形式の研修会を予定しています。現在参加者を募集していますので、ぜひ参加をお待ちしています。（参加申込用紙は当室ホームページからダウンロードできます。）

＜平成29年度第2回「学ぶ土台づくり」研修会＞

日時：平成29年11月7日（火）14:00～16:15

場所：登米市中田農村環境改善センター

内容：講話・ワールド・カフェ

「学習指導要領・教育要領・保育指針の改訂と幼保小の接続について」

講師：東北生活文化大学短期大学部生活文化学科子ども生活専攻

教授 三浦 主博 氏

主催：宮城県教育委員会

平成29年度
第2回「学ぶ土台づくり」研修会
参加者募集！

お互いの「学び」を知る絶好の機会です。幼稚園・保育所等から小学校への円滑な接続に向けて、まずは語り合いませんか？

期日：平成29年11月7日（火）
会場：登米市中田農村環境改善センター
多目的ホール（登米市中田町上沼字西桜樹1-8）
時間：午後2時から午後4時15分まで

【内容】講話・ワールド・カフェ
「学習指導要領・教育要領・保育指針の改訂と幼保小の接続について」
講師：東北生活文化大学短期大学部
生活文化学科子ども生活専攻 教授 三浦 主博 氏

「学びませんか？」
ほとんどの参加者が小学校教諭や保育士、幼稚園教諭など、研修会に参加して学び、互いの「学び」を知る絶好の機会です。幼稚園・保育所等から小学校への円滑な接続に向けて、まずは語り合いませんか？

ワールド・カフェとは、グループごとに異なるテーマを設定し、各グループで話し合いを行い、最後に各グループの話し合いの成果を発表し合うという形式です。

募集人数 100名
（定員に達しない限りです）

募集対象 幼稚園教諭、保育士、保育教諭、小学校教員、等

応募方法 簡易の「参加申込書」に必要事項をご記入の上、宮城県教育庁教育企画課までにお申し込みください。

申込締切 平成29年9月29日（金）締切

お問合先：宮城県教育庁教育企画課 〒980-8423 仙台市青葉区本町三丁目6-1
TEL:022-211-3616 FAX:022-211-3699
E-mail:kyokupp@pref.miyagi.lg.jp

その他の研修会のお知らせ

国立花山青少年自然の家から研修会のお知らせが届きました。こちらの研修会への参加もぜひご検討ください。

「幼児期の終わりまでに育てて欲しい姿」を学ぶ

～幼稚園教育要領・保育所保育指針の改訂の方向性と
幼児の運動プログラム体験会～

日時：平成29年12月8日（金）17時～9日（土）12時

場所：国立花山青少年自然の家

講師：田中壮一郎氏（前国立青少年教育振興機構理事長）

河合優子氏（文部科学省幼児教育課調査官）

鎮目健太氏（厚生労働省保育課専門官）

鈴木みゆき氏（国立青少年教育振興機構理事長）

問合せ先：国立花山青少年自然の家 TEL：0228-56-2311（担当：八鍬，山田，田村）

申込締切：平成29年10月31日（火）（定員になり次第締切）

※詳しくは国立花山青少年自然の家のホームページをご覧ください。

「幼児期の終わりまでに育てて欲しい姿」を学ぶ
～幼稚園教育要領・保育所保育指針の改訂の方向性と
幼児の運動プログラム体験会～

日時
平成29年12月8日（金）17時
（受付16時30分）～9日（土）12時

場所
国立花山青少年自然の家
〒987-2593 東宮市山字花山61-1
TEL 0228-56-2311 FAX 0228-56-2469

講師
田中 壮一郎氏（国立青少年教育振興機構理事長）
河合 優子氏（文部科学省幼児教育課調査官）
鎮目 健太氏（厚生労働省保育課専門官）
鈴木 みゆき氏（国立青少年教育振興機構理事長）

募集 幼稚園教諭・保育士・大学等
幼児教育関係者・学生 50名

幼稚園教諭・保育士のための研修会
8日（金）
幼児の運動プログラム体験会
9日（土）
特別講演「幼稚園・保育所・認定こども園の連携と質の向上」
シンポジウム「幼保連携型認定こども園の取組と課題」

主催
国立青少年教育振興機構
国立花山青少年自然の家

主管
国立花山青少年自然の家

後援
宮城県、宮城県教育委員会、東宮市教育委員会、大崎町教育委員会、登米市教育委員会

幼児教育アドバイザー派遣事業について

今年度から開始した「幼児教育アドバイザー派遣事業」ですが、「どんな事業かしら?」「ちょっと相談してみたいけど…」と、気になるものの申し込むまでには至っていない先生方の声を聞くことがあります。

そこで、現在までの訪問の現状（様子）をお知らせします。

Q1 申込み（訪問）数は？

A 現在までに13園（所）（公立幼稚園（2）、私立幼稚園（2）、公立保育所（2）、私立保育所（3）認定こども園（2）、認可外保育施設（2））からの申込みがあり、うち8園（所）を訪問しました。



Q2 訪問の内容は？



A 事業の実施要項の中では、大きく3つ（園内研修等のサポートに関する事、幼児教育・保育相談等に関する事、その他 幼稚園教諭や保育士等の資質の向上に関する事）を挙げていますが、実際には公開保育に向けた研修のサポートや気になる子の小学校へのつなぎ方の相談など様々な内容となっています。



Q3 事前に準備することは？

A 園内研修等のコーディネートを行う場合は、事前に園（所）へ行き、1時間程度の事前打合せを行っています。訪問の内容によって、指導計画や幼稚園の概要が分かるもの、模造紙等を準備していただくことがあります。

Q4 訪問を受けた園（所）の感想は？

報告書から抜粋

A 「私立幼稚園にとって公立幼稚園の指導計画や研究への取組を知る機会はほとんどないので、参考となった。」
「外部の先生方に見ていただいて、様々な角度からいろいろな情報や指導をいただき、依頼してよかった。」
「受講した研修会や講義の内容を復命しても伝わらない部分があるが、園内で同じアドバイスを受け、共通理解し、取組を進めていけるのはとてもよい。」
「一施設だけで解消できない不安や疑問をこのような形でサポートいただける機会があるというのはとても心強く、職員の励みにもなる。」

アドバイザーという名のとおり、大学の先生方のような講義や指導ということではなく、それぞれの園や所の悩みや課題について、一緒に話し合いながら考えていくというスタンスで実施しています。事業初年度でありますので、皆さんの要望や意見を参考に、改善しながらよりよい事業にしていきたいと思っています。気になる方はお気軽にご連絡ください。

「学ぶ土台づくり」ワンポイント講座

自然体験の大切さは、もう十分ご存知と思いますが、実際何をするかと考えると、困ってしまう方も多いのではないのでしょうか。何も困ることはありません。「夜、きれいな月を眺める」「虫の音に耳をすます」身近なところに貴重な体験はあります。秋は身近で様々な自然体験ができそうですね。

担当：宮城県教育庁教育企画室 TEL：(022)211-3616 FAX：(022)211-3699

検索 学ぶ土台づくり

Email：kyoikupp@pref.miyagi.lg.jp

URL：<http://www.pref.miyagi.jp/site/manabudodai/>

